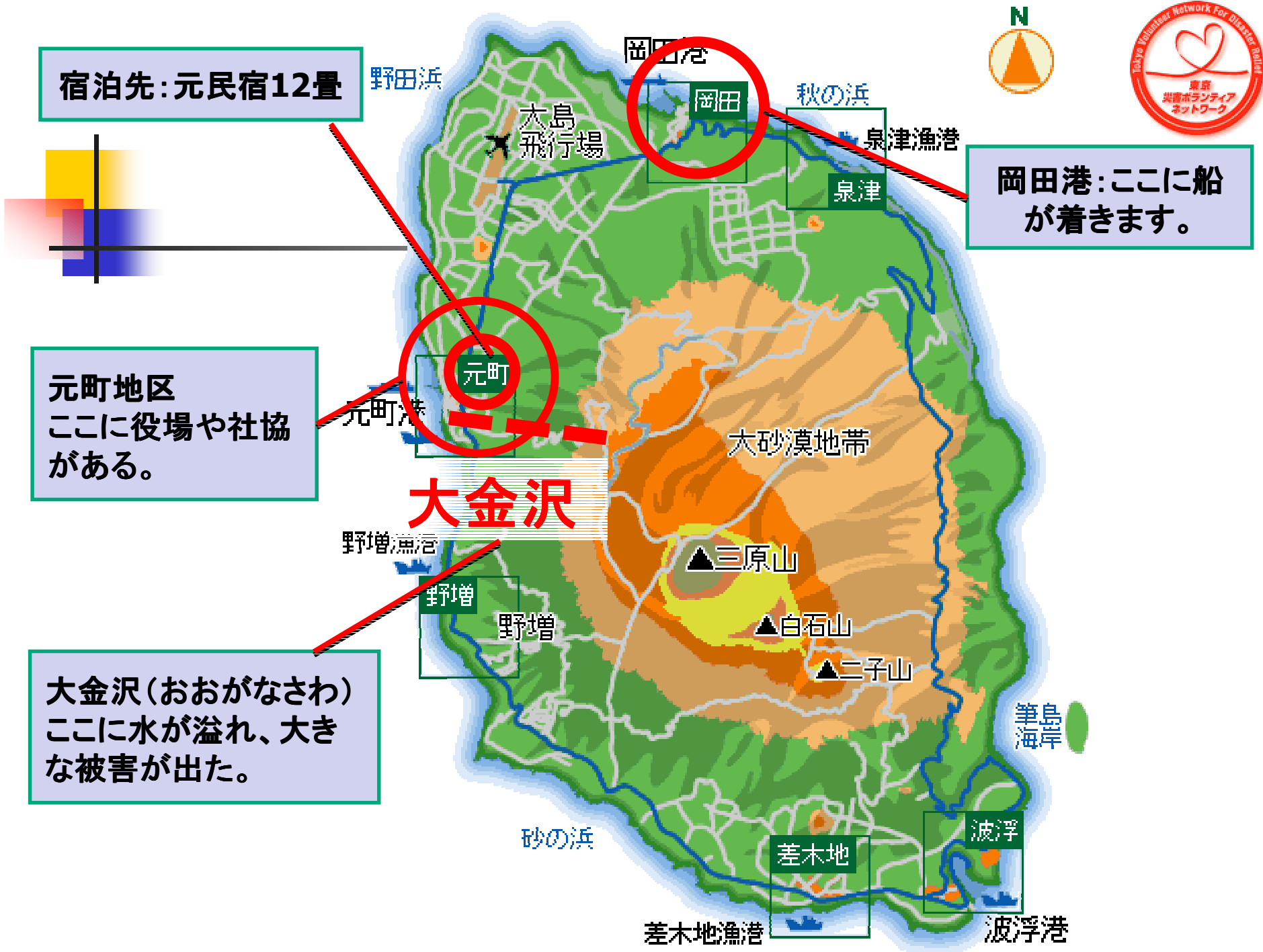




大島土砂災害被災者支援 ボランティア活動について

第3版

Pikari支援プロジェクト



宿泊先:元民宿12畳

岡田港:ここに船が着きます。

元町地区
ここに役場や社協がある。

大金沢(おおがなさわ)
ここに水が溢れ、大きな被害が出た。





大金沢。橋に土砂や流木がぶつかって両脇に大量の土砂があふれた。沢筋は、ボランティアが活動するには危険な家屋が多くある。



10月19日に発令された避難勧告地域(元町)。写真中央下の赤い囲みが大島町役場。その道を挟んだ右側に社協がある。なお、黄色の線が都道一周道路。



大島社協災害ボランティアセンター の主な活動内容について



活動内容について

- 家屋周辺の泥出し作業
- 床はがし・屋内外清掃
- 家屋内の整理
- 床下の消毒(消石灰まき)
- 大島社協災害ボランティアセンター運営支援

家屋周辺の泥出し作業



家屋の敷地内に流入してしまった土砂(泥)を敷地外に運搬する作業。スコップや一輪車(ネコ車)を使っての重労働になります。

写真:大島社協災害ボランティアセンター

家屋内の整理



家屋内にも数多くの土砂が入り込んでしまっています。土砂で埋まってしまった家財等を屋外に出す活動も。

写真：大島社協災害ボランティアセンター



大島社会福祉協議会。2階に災害ボランティアセンターの事務所がある。



10月18日(金)12時30分に初めて島内で活動しているボランティア向けに説明会を実施した。



大島社協事務局長の藤田好造さん。奥が大島社協職員鈴木祐介さん。



支援活動の期間について



活動期間



**ボランティア派遣活動は、
2013年11月適宜日から12月中旬までの期間で実施されます。
写真:大島社協災害VC**



活動期間

- 当面、2013年11月8日～2013年12月中旬とさせていただきます。
- 派遣終了に関しては、現地のボランティアニーズに合わせて柔軟に対応したいと考えております。



皆さんの活動期間

ボランティアの皆さんは、原則として、1人が1週間活動（2日間は渡航日で5日間が大島での滞在期間）していただきます。活動を希望される方はPikari支援プロジェクトの活動期間内の連続した1週間を選び、事前に希望期間をお申し込みください。

※なお、派遣期間は、3日・4日間など皆様の諸事情も考慮したいと思います。女性の派遣も積極的にお願いします。
※また、各団体のリーダー(コーディネーター)の中長期滞在が可能な場合は、ご検討いただければと思います



派遣期間

- 第一期:11月9日夜出発～11月17日
 - 第二期:11月16日夜出発～11月24日
 - 第三期:11月30日夜出発～11月8日
 - 第四期:11月8日夜出発～11月15日
 - 以後現地のニーズを見て追加
-
- 木曜日夜出発～火曜日夜帰京、月曜日夜出発～金曜日夜帰京など、団体内で一週間をつないでいただいても結構です。



事前研修の有無

土嚢の作り方、積み方などの簡単な説明資料をお渡しします。

活動に際しては、大島社協災害VCのルールに則って行うこととします。



ボランティア活動の注意点

現地に着いたら。。。

『大島社協災害ボランティアセンターから来ました』と伝えてください。

作業内容を依頼者に再確認してください。

トイレが利用可能かどうか依頼された方に確認してください。

室内の場合は靴を脱ぐか確認してください。

作業中には。。。

十分休憩を取りましょう。

安全には十分注意してください。

危険な作業やできないことは、断ってください。(後でセンターに報告)

災害廃棄物と思っても捨てる前に依頼者に確認をしましょう。

怪我をしたらボランティアセンターに連絡してください。

判断に困ったらボランティアセンターに連絡してください。

04992-2-3773



ボランティア活動の 注意点

終了したら。。。

作業は16:00までにボランティアセンターに帰ることができる時間に終わります。

(やり残した事があれば、報告書に理由を添えて記録する。)

作業終了を依頼者に確認してもらいます。

活動の継続希望を依頼者に確認します。希望があればセンターに報告します。

もって行った資機材を忘れずに持ち帰ってください。

センターに帰ったら。。。

体についた泥を落とし手洗いうがいをします。

もって行った資機材を洗浄して返却します。

報告書を書いて提出します。

土嚢袋の作り方





渡航について



渡航について

大島へは船での入島となります。出港日、寄港日の天候により、船が着岸できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

なお、出航時間は下記の通りとなっております。また、渡航費に関しては、東海汽船大型船で往復4670円×2=9340円となります。復路は岡田港で30%のキャッシュバックがされます。

東京→大島 (毎日就航)
22:00竹芝棧橋発
06:00大島 岡田港着

大島→東京 (毎日就航)
14:30大島 岡田港発
19:00竹芝棧橋

渡航の手続きと注意事項

- **場所: 竹芝客船ターミナル**
 - JR浜松町駅から徒歩4～5分
 - ゆりかもめ線徒歩0分
 - 受付カウンター(18番、19番、20番)前が目印です。





渡航予定日の確認事項

- 渡航予定日の出航予定については、予定日の17:00～20:00までに、下記「東海汽船テレフォンセンター」にて、船が大島に向けて出航するか、ご確認ください。

東海汽船テレフォンセンター

03-5472-9999



条件付出航となった場合、また、17時の段階で出航しないことが確定した場合

■ 条件付出航の場合

大島に着岸できず、東京に戻ってくる可能性があります。渡航リーダーは、東京に戻る前に船内で渡航を再トライするかの確認をとり、Pikari支援プロジェクトに事務局に連絡してください。再度東海汽船へ電話予約をします。

■ 17時の段階で出航しないことが確定した場合

参加者全員Pikari支援プロジェクト事務局にご連絡ください。翌日再トライするかどうかの確認をとります。短い期間でも結構ですので、出来るだけ再トライをお願いします。



入島前に準備しておくこと



入島前に準備しておくこと

- 島内の地区名を覚える
- 持ち物
- ボランティア保険
- その他



島内の地区名を覚える

- 大島は「元町」「泉津」「岡田」「波浮港」「差木地」「野増」の6つの地区で構成されています。
- 今回大きな被害があったのは、元町地区（10月25日現在）となっております。大島社協災害VCは、この元町地区になります。

元町地区地図





持ち物

- 着替え (1週間分)
- 防寒着・雨合羽・水着
- 活動装備
 - 長靴 (厚底靴が望ましい)、軍手、タオル等
 - レスキューストックヤードの水害ボランティア作業マニュアルを参考にさせていただけると助かります。

(<http://rsy-nagoya.com/volunteer/volknowledge.html>)

- 洗面具
- 寝袋
- 保険証のコピー
- お金 (多額はいりません)
- 酔い止め薬・目薬など
- その他必要と思われるもの

レスキューストックヤード水害ボランティア 作業マニュアル1

その他 冷蔵庫やエアコンのフロンガス回収を忘れず。
水に浸かった車はせこまなでエンジンをかけない(発火やエンジンが全壊する恐れあり)

注意!!
ほこりや泥は
バイ菌だらけ!

汚物、漂流物...
クズやガラスなども
流水でくすのど
に付くので!

家具など
電化製品類、
家具類などを
分別して出す

庭の泥
剣スロップで
泥出し、輪車
で運ぶ

側溝
1. バルブを閉める
2. 角スコップなどで泥出し
3. うまに流れる水を
流しきる。と呼吸器
の作動の状態を確認

泥
水層によって泥の質が違ふ

車から泥が
勝負!!
国まじり作業がメイン

土カベ
1. 出しを
かけず
かき落とす

床
すべりやすい
水を吸って弱く
なっているため
踏みやすい
クズやガラスに
要注意!!
ボールを落と
さない

水分を含んだ
ムヤクや重い!
目撃が経ると
酸欠状態に
なると、
熱も発生する

1. 泥出し
道具に水をつけながら
からすると泥が付きにくい

2. 洗浄
半リキリや
水切りなどは

3. 消毒乾燥
窓をあけて扇風機、除湿機
床下などは石灰粉が効果的

この服装で 完ペキ

帽子 or ヘルメット

ゴーグル
(コンタクト使用者
は必須!!)

防塵マスク
立体型があっす

タオル

あつても
長袖

ウェストポーチ
ディパックで
荷物をひとまとめ

雨具(上着にも
梅干(塩水必須)
ミニ洗面セット
貴重品)

身分を示す
名札

厚手の長めの
ジャマ手袋
軍手はNG
(中にはめまなう
汗を吸うタイプ)

水筒
目ヤチの洗える
水がベスト!!

長ズボン

長ぐつ
長タイがいい

廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちやペースにあわせよう/お話をたっぷり聞こう/真剣さと笑顔を織り交ぜて/塩分と休憩はしっかりとろう



レスキューストックヤード水害ボランティア 作業マニュアル2

道具用途一覧

剣スコップ
固い土・堆積した泥

角スコップ
床下の泥出し
道路や側溝などの平たい所

十能
縁の下・側溝

ミニスコップ (コテ)
家の中の細かい泥

じょれん・どうぐわ
側溝

バケツ
ぞうきん・タオル洗い
※取っ手が壊れるので入れすぎ注意
壊れにくい丈夫なもののがよい

一輪車
荷物・泥の運搬
水を入れるなど
※深いタイヤがオススメ

土のう袋
泥・細かいがれき・廃棄物を入れる
※腰を痛めるので6~7割以上は入れない
水は時間がたてば抜けるので気にしない
平に積み重ねると崩れにくく、キレイ
泥が流れ出さないようしっかりと口を結ぶ

パール (大・小)
土壁落とし・家具の解体
床板はがし・側溝の蓋開け
テコがわり

かけや
土壁落とし

のこぎり
流木などの裁断
フローリングの床板はがし
※型枠用か植木用が便利

デッキブラシ・たわし
床板・道路・壁掃除

水切り
※雑巾より便利

モップ
水切り・拭き掃除

★土のう袋をしぼるコツ



※水害の場合はほどけると泥が出てきてしまうので、しっかりと結び。

ほうき
掃き掃除
※室内用と屋外用と分けて使う

雑巾・タオル
拭き掃除
※普通タイプがなにかと便利。大きいとがえって不便

左官用フネ
機材・長靴の洗浄
※資材担当で活躍

高圧洗浄機
高いところの洗浄
道具の掃除
※レンタルあり

チェーンソー
流木・倒壊家屋の処理
※使い慣れている人のみ

ブルーシート
家財などの下に敷く
資材の保管・屋根補修

スポンジ・歯ブラシ
細かいところの掃除

ちりとり
水切りがわり
狭いところの泥だし
※割れにくい金属製がオススメ

パワーショベル
荷物運搬・がれき撤去
泥だしなど
※レンタルあり・免許必須。バケットサイズ0.1立米が手ごろ

フレコン (トン袋)
大量の泥
※重機での回収が必要

軽トラック
人・物の運搬
※小回りが利いて狭い道でもOK
レンタルあり

あると便利な道具たち

■安全と衛生 無理せず、ケガなく

粉塵
まれに短期間で病気を起こす恐れあり。
一粉塵用のマスクやタオルでカバー

熱中症
大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お酒の飲み過ぎに注意!
→水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩

破傷風
深い刺し傷に注意!
→ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する
活動後はうがい・手あらい!
目に泥がよく入るので真水があると便利。



ボランティア保険

- 今回のボランティア活動に参加される方は、全員ボランティア保険に加入していただきます。
- 事前に各人で、ボランティア保険天災プランにご加入ください。すでに加入の方は26年3月まで有効期間の有る保険である事をご確認下さい。



その他

- 「家族や職場との調整」「健康管理」などの準備は各自でおこなってください



大島での生活環境について



生活環境について

- 一日のスケジュール
- 宿泊先
- 宿泊先でのルール
- 入浴
- 食事
- 島内移動
- 島外との連絡
- その他

一日スケジュール

- 06:00 起床
- 07:00 朝食
- 08:00 宿泊拠点を出発
- 08:30 大島社協災害VCで
ボランティア受付
- 09:00 ボランティア活動
- 12:00～昼食休憩

あくまでも、10月25日現在の予定となっています。今後の調整で若干の時間のズレが起こることが考えられます。



- 15:45頃 活動終了
- 16:00～ 大島社協災害VCで
活動報告
入浴？
- 19:00 夕食
- 0:00 **就寝**



宿泊先

大島での宿泊施設は、大島社協災害VCを通じてご借用させていただく元町地区にある「元民宿施設」となります。

現在、大島社協災害VCと連携しているTVACと調整中となっており、事前調査時に確定する予定です。

※現地滞在規模:10名(MAX)



宿泊先でのルール

宿泊施設をよりよい環境でお過ごしいただくため一定のルールを設ける予定です。

食事当番の他、ゴミの収集・分別はもとより施設内の掃除など、皆さんで協力しながら運営に努めましょう。



入浴

- **入浴は、温泉施設(浜の湯:水着着用)や、宿泊拠点にある浴室をお借りします。**
- **現在調整中となっており、事前調査後に確定させていただく予定です**



食事

- ボランティア活動に参加される方の食事は、基本的には自炊とさせていただきます。朝食、昼食は、当日の朝に、夕食については、活動後に当番制を敷く予定です。ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



島内移動

- 島到着後の移動は路線バスを利用してください。岡田港近くのバスのりばから「最寄りのバス停」まで、お越してください。
- 料金：自己負担とさせていただきます。
- 島内での移動は基本的に島内は坂が多く、徒歩・自転車などでの移動とお考えください。
- 車両は拠点に1台用意されています。

島外との連絡

- 携帯電話は「au」が非常につながりにくくなっております。
- また、インターネット環境は、宿泊拠点にはございません。必要となる方は、各団体でご用意いただきたいと思っております。





活動予算について



活動予算について

大島土砂災害被災者支援活動

ボランティア渡航費用	¥9,340	= 9340円
滞在費用(生活費用)	¥2,000	= 12000円
車両関連費(1台~2台)		= (24万円)
拠点整備費(水光熱費・整備費)		= (25万円)
資機材購入費		= (25万円)
<hr/>		
食費を合わせたおおよその活動準備金		= 25000円



活動予算について

- **活動経費は、数多くの方々からの支援金で賄わせていただきたいと考えております。**
- **ボランティア派遣をご検討いただいている皆さまはもちろんのこと、派遣が難しい団体の皆さまにも財政支援をお願いしたいと考えております。**